

# 平成25年度教師海外研修(ガーナ) 研修報告書

学校名	一宮市立奥小学校	氏名	鈴木 吾宙
-----	----------	----	-------

## 1. 印象に残る写真2点

### ●「RICE WE CAN!!」



日本の稲作技術がガーナで大活躍。収入が4倍になったという話も聞いた。増えた収入で何をしたかという質問に、「子どもを学校に行かせることができた。」と答えた。

### ●「教室から世界に笑顔を！」



学級の子どもたちが作った日本の遊び説明書。それを使い実際にガーナの子どもたちと遊んだ。とっても喜んでくれた。クラスのみんなへの報告の一枚。

## 2. 現地研修に対する各自の目的 とその達成度

### (特に、現地研修の経験を生かす授業実践に資することについて)

小学校における国際協力の在り方を模索したいと考え、本研修に参加した。研修中は、学級で何ができるかという視点を大切にしたい。開発教育は、とても大きな可能性を秘めていると信じている。世界には様々な問題があり、貧困や戦争に苦しむ子どもたちが多くいる。未来を担う日本の子どもたちがそれらの問題に取り組むことは、より良い国際社会をつくっていくうえでとても重要なことである。また、行動すれば大きなことを成し遂げることができる、そういった経験を学級の子どもにも体感させたかった。その中の一つにガーナという国を取り上げた。具体的に行ったことは、学級で「スマイルプロジェクト」と題し、教室から世界に笑顔を届けようと折り紙や福笑いの説明を写真付きで作成しそれを届け、実際に遊んだ。それらをどのように学級の子ど

もたちに還元していくかが今後の課題であり、その中から本当の意味で本研修の達成感を味わえるのだと思う。

### 3. 訪問国から学んだこと（気づいたこと、わかったこと、大切に思ったことなど）

#### （1）柱1「訪問国に肯定的に出会う」という観点から

ガーナという国は活気に満ちあふれていた。町にはたくさんの車が走り、頭にいろいろな物を乗せてそれを売り歩く人々。新しい建物や、建設中の建物が多く並ぶ。これからの発展が期待できる、現在のガーナの象徴のように感じた。また、人々の明るさもガーナの良さ。特に、学校に訪問させて頂いたときの子どもたちの笑顔にこの国の元気の良さを感じた。中には踊って喜びを表現する子もいる。そんな子どもたちを見て気持ち良かった。

#### （2）柱2「日本と訪問国とのつながりや同一性を理解する」という観点から

ガーナと日本のつながりについて、青年海外協力隊やシニア海外ボランティア、専門家の方々の取り組みから感じることができた。今回の研修に参加しなければおそらく一生行かなかったであろうガーナ。行かなかったところか、どんな国なのか知りもしなかったと思う。そんな国に縁あって本研修を迎えたが、ここまで多くの日本人が活躍していると思わなかった。特に、日本の稲作技術を伝え国を盛り上げようとしている専門家の姿には大きな感銘を受けた。日本の伝統や技術がアフリカの発展に大きく貢献しており、その現場を自分の目で見ることで本当に良かった。

#### （3）柱3「共通の課題について共に考え・共に越える」という観点から

カカオ農園での児童労働問題について研修参加者や JICA 関係者と話をすることが多かった。実際に自分の目で見たわけではないので一概には言えないが、現在のガーナではカカオ農園において児童労働問題が少なからず存在する。児童労働問題に取り組む現地 NGO の CRADA の方の話によると、コートジボアールでは、それに加えて人身売買も大きな問題となっている。これまで、個人的に多くの途上国を周って、様々な問題に触れてきた。しかし、今回のように「チョコレート」という日本人に関わりの深いものの裏側にこのような暗い現実が存在するということを知ると、とても悲しい気持ちになるし何とか解決しなければいけないと強く感じた。

### 4. JICAの国際協力事業の「良い!と思ったところ」と「今後あるといいなと思う視点」

#### 「良い!と思ったところ」

- ・専門家の取り組みが素晴らしいと思った。天水稲作プロジェクトの JICA 専門家の方から、「農業の可能性を試したい」という話を聞いた。自分の専門性を生かし、国際協力に携わるとても効果的な取り組みだと感じた。

#### 「今後あるといいなと思う視点」

- ・JICA の取り組みをもっと日本人たちに広め、より評価されるべきだと思う。本当に良い活動をしているので、そんな生き方もあるんだということをより多くの子どもたちに伝えていく方法があればいい。

### 5. 来年度参加する先生へのアドバイス（持ち物、必要な準備、学びの視点、注意事項など）

- ・両替は100ドル札がレートが良い。ホテルでドル払いする際にドルでのお釣りをホテルが持ち合わせていない。両替用には100ドル札、ホテル支払い用に細かいドルを持っていくのがいいと思います。
- ・研修参加者で携帯用のはかりを持ってきている方がおり、それがかなり役に立った。パッキングする際にみんな荷物の重量を量り、規定内におさめた。帰りはお土産などで重くなることが予想されます。
- ・チームに分かれてのミッションについて。各訪問先ですべきことをまとめておくと良い。ここの訪問先では何を聞く、何を写真に撮る、何を手に入れる、など各訪問先別で表を作っておけば、現地に行ったときに一目で何をすべきか分かる。

## 6. その他全般を通じての感想・意見など

研修全体を通して大変有意義な時間を過ごすことができた。どんな教材をどこでどのように集めてくるかというのを事前に十分に打ち合わせしていったおかげで、学級ですぐに使える教材ができた。研修参加にあたり一人ひとりが自分の強い思いを持ちつつも、他参加者の思いも理解して研修に臨む雰囲気があり、みんなが満足できるものとなったと思う。

以上